



かしの木

第 8号

祝 創立150周年

第1回学校運営協議会

今年度から、渋川小学校を含む、二本松市の全ての小学校がコミュニティスクールとなり、地域の方々と一緒に学校運営を進めることとなっています。

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組みです。

コミュニティスクールには、主に以下の機能があります。

①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。

校長は毎年、「学校運営の基本方針」として、「学校経営・運営ビジョン」という学校の基本方針を作成します。この基本方針にコミュニティスクールの意向を反映・共有することで協議会委員とともに協力して渋川小学校の運営に取り組んでいきます。

②学校運営について、意見を述べるができる。

コミュニティスクールは学校の運営に対して、意見を述べるができます。様々な分野で学校に関わっていただいている委員の方により、教育関係者では思いつかない新たな視点から教育活動を行うことが出来るようになります。

では、学校運営協議会とは何をする協議会なのか、というお話です。渋川小学校は地域とともにある学校として、多くの方々の御協力を得て、教育活動を進めているところですが、学校の教職員が中心になって教育活動を進めているのが現状です。どうしても、教職員の視点によって全てが決定し、進めていくようになっていきます。

そこで、地域の方々の中から、学習への支援、交通安全、運動、PTAなどの様々な分野から「16名の協議会委員」を委嘱し、学校の教職員とともに「学校運営協議会」を設置しました。学校運営協議会では渋川地区に住む方々の視点から学校を見ていただき、今後の渋川小学校の教育教育の在り方について共に考えていく会議を行っていきます。第1回学校運営協議会を6月に予定していたところ、諸事情により7月の開催となってしまいましたが、委員の皆様からは沢山のご意見をいただきました。今後は、11月と2月の開催を予定しています。



7月の行事から

○交通安全教室

7月12日(水)に交通教室を行いました。自転車の乗り方やヘルメットの着用についてお話をいただきました。暑さ対策のため、Z o o mを活用してお話していただきました。



○校内水泳チャレンジ会

7月13日(木)に校内水泳チャレンジ会を行いました。低・中・高学年毎に分かれて行いました。沢山の保護者の方が応援にきていました。子ども達も声援を受けてがんばるぞ、と目を輝かせていました。



厳守願います

最近、警察関係の方とお話をする機会が多くありました。その中で、是非気をつけてもらいたいとお話があったことを以下に書きますので、厳守願います。

①自動車の後部座席は、必ずシートベルトを着用させる。

大切なお子さんが取り返しのつかない大けがをするケースが多いそうです。近いから、すぐだから、ちょっとだからといっていい加減にすると事故があった時に取り返しがつかないことになります。交通事故は、自分が起こさないと思っても、相手に過失があることが多いことを覚えておいてください。

②自転車のヘルメットは安全なヘルメットを必ず着用させる。

安いヘルメットは安全マーク等の品質保証マークがついていない物が多いです。お金をケチったために大けがになってしまっは取り返しがつきません。確実に安全な物を使いましょう。

③運転者自身のシートベルトを必ず着用しましょう。

運転者のシートベルト着用は「義務」になっています。保護者の皆さんに限らず、家族で運転する人はシートベルトを着用するよう、声をかけてください。

今年は福島県内の交通事故件数、特に、死亡事故件数が大変多いそうです。学校メールで注意をお願いしたことも数回ありました。防げる事故は起きません。予想していないから起こるものです。事故が起きた時のための対策は確実に行っていきたいものです。